

<日本史探究③⑥> 平安時代⑦ 教科書:P.80~P.83

1 奥州藤原氏の繁栄

①奥州藤原氏は、後三年合戦のあと(35)、陸奥の(1.)を拠点にして、11cから12cにわたって東北で絶大な権力を持った。<2. >を初代として<3. >、<4. >の3代にわたって栄華を極めた。

(1)奥州藤原氏は3代100年にわたって栄華を極めたが、2代目、3代目の名は?
2代目:() 3代目:()

②奥州藤原氏は産出する(5.)や(6.)などで経済力と軍事力を持ち、京都の文化を移入し、(1)に阿弥陀堂建築の(7.)を建立した。ここには、(2)・(3)・(4)の3体のミイラがおさめられている。また(3)は(8.)を、(4)は(9.)を(1)に建立した。

(1)1124年に藤原清衡が平泉に建てた阿弥陀堂は? ()

2 平氏の台頭

①平将門の乱・平忠常の乱(35)で、関東における平氏の地位は衰退したが、平将門の乱を平定した平貞盛の子維衡は伊勢守となって、伊勢・伊賀両国に勢力を広げ、(10.)の祖となった。

②維衡の曾孫の<11. >は、白河上皇が設置した(12.)に登用され、1107年に出雲でおこった(13.)(義家の子)の乱を鎮圧するなどして中央政界進出への足がかりをつくった。

③白河院政のあとの<14. >院政期には、11の子で<14. >上皇の院近臣となった<15. >が台頭した。(15)は、瀬戸内海の高僧を鎮圧し、(16.)の権利を手に入れた。これが、平氏の重要な経済基盤となった。

(1)白河上皇の孫で、白河上皇の次に院政を行った上皇は? ()
(2)(1)の信任を得て瀬戸内海の高僧平定に功績を上げた人物は?
()

③ 上皇 VS 天皇

① <14. >上皇[法皇]が(17.)年に亡くなると、(14)上皇の子である
<18. >と<19. >の兄弟対立が浮上し、摂関家の
左大臣 <20. >(弟)と関白 <21. >(兄)との対立が連
動して、源氏・平氏の兵が集められ、(22.)が起きた。

(1) 天皇家・藤原氏内部の争いに武士団が活躍した、1156年に起こった内乱の
ことを？ ()
(2) (1)で対立した上皇と天皇の名は？ ()上皇と()天皇
(3) (1)で上皇方・天皇方について摂関家をそれぞれ答えよう。
上皇方：() 天皇方：()

② 朝廷の実権を握ろうとした(18)は、<13. >の子の<23. >。
(23)の子の<24. >・<11. >の子の<25. >らの武士を
集めた。これに対して(19)は、<15. >の子の<26. >・(23)の子
で(24)の兄である<27. >らの武士を動員し、上皇方を攻撃して破った。
その結果、(18)は(28.)に流され、(23)らは処刑された。

(1) 保元の乱で上皇側について平氏を1人、源氏を2人答えよう。
平氏：() 源氏：()・()
(2) 保元の乱で天皇側について平氏・源氏をそれぞれ答えよう。
平氏：() 源氏：()

③ この(22)後、<29. >上皇が院政を始めたが、院近臣どうしの争いが
起こった。これが(30.)年の(31.)である。その背景として(29)の乳母の
夫であった<32. >が(29)上皇の院近臣として、<33. >
と結んで政治を主導していた。これに対し、同じく院近臣の<34. >が
反発し、<35. >と結んで挙兵した。(32)は自殺に追い込まれたが、(33)
は(34)と(35)を滅ぼした。(35)の子の源^{りとも}頼朝は(36.)に流された。

(1) 後白河上皇の院近臣の権力争いと武家の棟梁の勢力争いが結びついて、
1159年におこった内乱のことを？ ()
(2) 後白河上皇の院近臣で、(1)で自殺に追い込まれた人物は？ ()
(3) (2)を攻めた院近臣と武家の棟梁は？ 院：() & 武：()
(4) (3)を倒し、(1)の勝利者となった武家の棟梁は？ ()

④平氏政権

①(31.)に勝利した<33. >は後白河上皇を武力で支えて昇進をとげ、(37.)を造宮するなどして奉仕し、(38.)年に武士として初めての(39.)となった。その子重盛^{しげもり}らの一門も高位・高官に昇り、平氏政権は最高潮を迎える。

(1)平清盛は、1167年、武士として初めて何に就任したか? ()

②平氏が全盛を迎えるようになった背景には、西国の武士たちを(40.)として組織し、国衙領や荘園の現地支配者である(41.)に任命するなど、武家政権的な性格をもっていた点があげられる。

③その一方で、(33)は娘<42. >[]を<43. >の中宮に入れ、外戚^{がいせき}として威勢をふるうなど、摂関政治に似たもので、武士でありながら貴族的な性格も強かった。平氏政権は、(33)が京都の(44.)に邸宅をかまえたので、(44)政権ともよばれた。

④平氏政権の経済基盤が、日本全国の約半分の(45.)(35回)と500にのぼる(46.)である点も貴族政権的だといえる。

(1)平氏政権の経済的基盤は何か? 2つあげよう。()と()

⑤さらに平氏が<15. >以来、力を入れていた(16.)もある。11c後半以降、高麗や宋とのあいだで活発な民間貿易が行われていた。12cに宋が北方の女真人の建てた(47.)に圧迫されて(48.)となつてからは、さかんに貿易がおこなわれた。

⑥これに応じて(33)は、(49.)国の(50.)〔現在の神戸市〕を修築し、安芸^{あき}国の(51.)〔現在の広島県〕を開削^{かいさく}〔土地を切り開いて道路や運河などを通すこと〕するなど、瀬戸内海航路を整え、(16)を推進した。正式な国交は開けなかったが、(52.)などが輸入され、中世における貨幣経済の発達につながった。

(1)平清盛が日宋貿易のために、現在の神戸に修築した港を何という?
()